学校だより
生地っ子
〔育てたい子供像〕
「かんがえる子」「はげましあう子」「ねばりづよい子」
１２号
黒部市立生地小学校
令和６年２月１日

～ 2月と言えば何ですか？　～

校長　　斉藤　　康

今日から2月。朝夕の寒さは先月から変わりませんが、今後は少しずつ春の気配も感じられるようになってくるのでしょう。私が2月で思い出されるのは「入試」です。数年前の出来事ですが、私の次男には希望する大学があり、2月に受験をしました（1月には、全国共通テストを受けています）。本人にとっては、難易度の高い大学です。それでもどうしても入学したかったのでしょう。高校3年生で部活動を引退してからの日々は、土日祭日関係なく学校に行き、自習室で勉強していました。「いつまで続くのかなぁ」と思いながら当時は見守っていました（特別に「頑張れ」や「少し休んだらどうだ」等は言いませんでした。ただ「いってらっしゃい」「お帰り」くらいの声かけでした）。毎日が受験勉強の日々が続きました。とりあえず試験を受けることはできましたが、本人としては「手ごたえがあった」と言い切れないできだったようです。合格発表の日、彼は2次募集の大学の試験の勉強をしに図書館へ行っていました。発表の時刻になり大学のホームページに合格者の受験番号が掲載されます。私や妻は、「本人のことなのだから、本人が確認するだろう。自分たちは見ないでいよう」と話し合っていました。そのとき、自宅の電話が鳴りました。電話に出ると「@△■＊・・・」誰が何を言っているのか分からず「どちら様ですか？」と聞くとようやくしゃくりあげて泣いている次男だと分かりました。「あった・・・受験番号あった」とようやく聞き取れ「おめでとう。気を付けて帰ってこられ」と話し、電話を切りました。そして家のベランダから彼が帰ってくるのを待っていると大声で泣いている声が聞こえます。彼でした。「ここまで人間って思いっきり泣けるものなのか」と思うくらいくしゃくしゃになって全身で号泣していました。祖母はその姿から不合格だったと思い「大丈夫。よくがんばった。次がある」と声をかけています。本人は、号泣しながら説明するのですが、なかなか伝わらず、合格したことが伝わるまでに10分ほどかかりました。

合格を勝ち取ったのは、もちろん彼自身の努力です。親として子供が希望の大学に合格したことはもちろんうれしいことですが、それよりも結果がどうであれ、目標に向かって本当に精一杯努力していたことが一番うれしいと私は感じていました。同時に「彼のようにこんなに号泣するくらい自分は頑張ったことがあるのか」と自問している私もいました。1月から3月にかけて「入試」の話題があがる時期になると、いつも上述の出来事が思い出されます。そして思い出すたびに「彼のようにこんなに号泣するくらい自分は頑張ったことがあるのか」と自分を叱咤しています。我が子から影響されることもあるのですね。今後も影響されながら互いに成長していきたいと思っています。

ランチルームの整頓　１月９日(火)

始業式終了後、6年生が全校児童の椅子をランチルームの定位置に移動、整頓してくれました。さすがに6年生。てきぱきと作業に取りかかり短時間で終了しました。表で児童たちを引っ張り、裏で支える。立派な最高学年の児童たちです。

新たな清掃場所で　１月１９日(金)

３学期の清掃場所での掃除が始まりました。前日に顔合わせを行い、掃除の分担や手順を確認しました。19日より実際の掃除に取りかかりました。児童たちは「さ（さっと掃除に取り組む）し（しずかに掃除をする）す（すみずみまで掃除をする）せ（せきにんをもって取り組む）そ（そうじロッカーの整頓をする）」をスローガンにして取り組んでいます。とても上手にできている児童が多いです。

学校給食週間　１月２３日(火)～３０日（火）

学校給食週間の３日目、1月25日（木）の給食の時間に給食センターから栄養教諭の藤原先生が来校されました。藤原先生からは、いつも食べている給食の献立がどのように考えられ、調理されているかや調理師さんたちの思いをスライドを用いながらお話くださいました。そして、児童の食事の様子や片付けの様子を見ていかれ、「残食も少なく、きれいに食べている児童が多くて、感心しました」と褒めてくださいました。

保護者の方へのお知らせ

まだ先の行事なのですが、「令和6年度の運動会」の実施日を10月12日（土）にしようと計画しています。児童にとって今年度のように猛暑の中での運動会の練習や当日の活動は、熱中症等の危険が高いのではないかと考えています。また、区民運動会や生地こども園さんの運動会と重ならない日をふまえて、上述の日程を考えました。日程かしっかり確定しましたら、再度お知らせします。